

当会主催「憲法と社会福祉について話し合う会」第一回が8日(土)、第二回が22日(日)図書館大会議室で開かれました。講師はみどりが丘在住の松本栄二さんです。

毎回30名の参加をいただき、盛況のうちに予定を終了しました。改めて、憲法と社会福祉について考えるよい機会になりました。以下に、二回の勉強会を通じてその感想や、考えたこと等を紹介します。(なお、第一回目の文は3月号の再録です。)

◆お話は、氏の人間味あふれる生い立ちから始まり、人生に多大な影響を与えた一人の牧師との出会い。戦災孤児たちを集めた施設での社会事業への参加を通じて、社会福祉に目覚めていく半生がユーモアを交えて語られました。

◆戦後、日本が民主化していく過程のなかで、生活保護法、児童福祉法を始め、身体障害者、精神薄弱者、老人、母子と年次を追って福祉6法が制定されますが、社会福祉というものが、弱い者を救済するという側面と、弱い者の不平不満を封じ込めるという両面を待っているという指摘には目を開かれました。そして、福祉を国民のものにしていくには常に、それらの諸法が源にした「憲法」を大事にしていかなければならない、というお話でした。また、その隙間を埋める意味で、民間の慈善事業や博愛事業、ボランティアの必要性が強調されました。氏の実践(長野県で「認知症老人のグループホーム」を開設されているそうです。)には頭の下がる思いがしました。(「一回目(3/8)を聞いて」柳田 智)

◆松本栄二さんは、自らの学問的専攻と実践活動を通じて感じておられた日本の社会福祉の貧困とそれにかかわる行政の諸問題を告発されていました。北九州市で生活保護を打ち切られた男性が餓死した事例(福祉事務局長が男性に厳しい就労指導を繰り返す、生活保護辞退届けを出させて生活保護を打ち切った結果、男性は餓死したと告発されている)や、自らがかわった保護申請の事例を取り上げ、行政が困った人の訴えを聞こうとせず、保護申請をさせない方向で説得?している現状の指摘は、聞く人に改めて「社会福祉」を考えさせるものでした。

◆日本国憲法によって初めて、国民に「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を認め「社会福祉」「社会保障」は国家の責任として明文化されました。明治憲法にはなかった規定です。それまで福祉は「貧民・救民対策」として慈善事業・博愛事業として、篤志家や宗教者のものとされ、国家の責任ではなかったのです。

◆相互の助け合いは必要ですが、その埒外に置かれる人、或いは自助努力・相互援助だけでは守りきれない事態が生まれるのも社会の現実です。社会の必然として生じてしまうこうした現実の中で国民には「生きる権利」「社会的権利」があり、国家がその「向上・増進」につとめる責任を負うとしたところに日本国憲法の規定の意味があるのだと思います。福祉の分野でも私たちは、憲法をよりどころに法を作らせ、基準を変えさせてきました。

◆もとより作られたものは、さまざまな理由によって、不十分なものでしかありません。私たちの憲法がその第12条で「国民の普段の努力で保持」することを求めているのもそのためだと思います。統治のための法律の持つ「両面性」や法を執行する行政は「人」があたるといふ問題を考えると、権利を守り発展させていくには、まさに私たち国民の「普段の努力」が必要であり、とりわけ公務に携わる人達の働き方が重要だと思います。

◆いま、「憲法9条を変える」ということを根底にしながら「戦後レジームの見直し」の風潮が根強く表面に躍り出ようとしています。生活保護基準の引き下げの動きが出ました。国家が責任をもつべき福祉や社会保障の諸制度すべての分野で「見直され」ようとしています。「9条とは関係ない」ではなく、生活と密着したものとして9条を考えざるを得ません。(「二回目(3/22)を聞いて」西田一雄)

憲法と社会福祉についてかんがえる

世界は9条をえらび始めた—

9条世界会議

世界中で紛争が絶えず、武器が次々と作られるなか、地球環境の変化が人々の生存を脅かしています。そんな世界でいま、人々が注目し始めているのが、日本の憲法9条です。「武力によらない平和」という9条の考え方を、世界共通のものにしたい。「9条世界会議」は、ノーベル平和賞受賞者や、イラク、アフリカなどからゲストを招き、音楽ライブやパネル展も多彩な平和の祭典です。

「9条世界会議」って、どんなプログラムなの？

巨大な幕張メッセを舞台に繰り広げられる5月4日（日）5日（月）2日間の平和のフェスティバル。

プログラムの柱は大きく分けて、次の3つ。

「9条を考える全体会」「9条を生かす分科会」そして「9条を伝え合う自主企画」。3つの柱が、一大プロジェクトとして進行します！

全体会

5月4日（日） 「9条を考える」 今世紀最大の平和集会@イベントホール

開場 午後12時30分 開演 午後1時30分 （午後8時終了予定）

会場 幕張メッセ・イベントホール 定員7000名

講演



マイレッド・マグワイア

(北アイルランド/1976年ノーベル平和賞受賞)

「紛争を暴力ではなく、対話によって解決する。
日本の9条は、そのような世界のモデルになります」



コーラ・ワイス

(アメリカ/ハーグ平和アビール代表)

「すべての国の憲法が9条をもつべきです。
今こそ戦争を廃絶するときです」



音楽ライブ

UA 加藤登紀子 原田真二 FUNKIST

亀淵友香/高橋竹山/ナターシャ・グジー/普天間かおり/AINU REBELS



UA



加藤登紀子



原田真二



FUNKIST



ナターシャ・グジー



AINU REBELS



入場チケットなど 詳しいことは下記へ

「9条世界会議」チケット情報

(中学生以下無料)

5/4 全体会・音楽ライブ (イベントホール) 前売券 1,000円 当日券 1,500円

5/5 分科会 (国際会議場) 前売券 1,000円 当日券 1,500円

★詳しくは「9条世界会議」公式HPより <http://www.whynot9.jp>
その他、「9条世界会議」に関するお問い合わせ [tel 03-3363-7967](tel:03-3363-7967)

全国のローソン(店内Loppi)にて発売中!

<Lコード33580>

tel 0570-084-003

24時間予約受付・Lコード必要

(関東・甲信越専用)

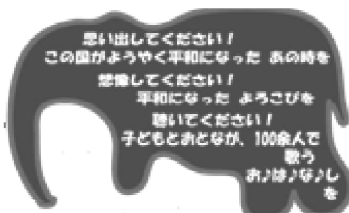
<http://l-tike.com/>

(インターネット予約・会員登録必要)



08あがわ町
ぞうれっしゃ合唱団 参加者募集

ひびけぞうれっしゃ



思い出してください!
この国がようやく平和に帰った あのとき
想像してください!
平和に帰った ようごびを
思い出してください!
子どもとおどりが、100余人で
歌う
あなごびを
しを

昨年当会第三回総会のアトラクションとして好評を博した「ひびけぞうれっしゃ」が帰ってきます。あの感動をもう一度、期日は7月20日、会場はパトリア小川です。今、参加者を募集しています。

「ひびけぞうれっしゃ」

七七

小川町教育委員会後援

連絡先 笠原恵子 TEL 73-2536